

収蔵品紹介

「チョコ焼器」



チョコ焼とは、水で溶いた小麦粉を浅いくぼみがついた銅板で焼いたものです。こんにやく、ネギ、天かす、ショウガなど具材が入ったものもありました。たこ焼きの前身であり、駄菓子屋ではおやつとして売られていました。関西では小さくて丸いものを「ちょぼ」と呼ぶことから、この名がついたと言われています。

資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示などを行っています。後世に伝えていくために、資料収集へのご協力をお願いいたします。資料によってはお受けできない場合もありますので、まずはお電話でお問い合わせください。

トピックス

●ホームページをリニューアルしました

デザインを刷新し、スマートフォン端末などの使用環境に応じてより快適にご覧いただけるようになりました。

●文化庁 Innovate MUSEUM事業に採択されました

令和5年度地域課題対応支援事業において、ピースおおさかの「平和教育へのアプローチ—平和資料館および学校との連携による平和学習モデル構築事業—」が採択されました。

●博物館法に基づく博物館に相当する施設として指定を受けました

2023年10月1日付けで、博物館法第31条に基づく博物館に相当する施設としての指定を受けることができました。今後とも、博物館としての機能を強化し、その活動を充実させていくよう努めてまいります。

大阪空襲死没者名簿について

第2次世界大戦末期、50回を超える空襲により、大阪では約1万5,000人の犠牲者が出たといわれています。

ピースおおさかでは「大阪空襲死没者名簿」を保管しており、館内に設置している検索システムで、名簿情報（非公開分を除く氏名・年齢・性別）を閲覧することが



ことができるほか、中庭には、大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」も存在します。

2023年3月末時点で判明している大阪空襲死没者は9,144名です。ピースおおさかでは、名簿の追加申請なども随時受け付けています。

大阪空襲で亡くなられた方にお心当たりがある場合は、ピースおおさかまでお問い合わせください。

平和寄金へ ご寄附のお願い

大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」の整備・維持、ピースおおさかで開催している特別展や企画事業などは、寄附金（平和寄金）をもとに実施しています。

戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。

Table with 2 columns: 銀行振込, 送金, 持参. Details on how to donate via bank transfer, cash, or in person.

※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。※銀行への振込口座につきましては、ピースおおさかまでお問い合わせください。※寄附申込書は当館またはホームページからダウンロードして取得できます。

<平和寄金へご寄附いただいた皆様>

佐治るみ子(匿名ご希望の方を除く) (2022年12月~2023年12月の間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略) ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

Table with 2 columns: 会員特典, 会費, 申込方法. Details on membership benefits, fees, and application methods.

ピースおおさかご利用案内

- 団体見学の見学申込受付
●戦争と平和に関する展示・映画上映
●DVDやパネルなどの団体向け資料貸出

ホームページや公式SNSで、最新情報を発信中！！

ホームページ



X



Facebook



<問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター) 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

ピースおおさか OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2024(令和6) 1/25 No.51

編集・発行/公益財団法人 大阪国際平和センター TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 ホームページ https://www.peace-osaka.or.jp

特別展「むかしのくらし —昭和・戦時期の人々の生活—」を開催

期間:2023(令和5)年3月1日(水)~7月16日(日) 特別協力:国立民族学博物館 ※令和4年度国立民族学博物館公募型共創メディア展示事業の支援による 参加者:22,455名

今回の特別展では、ピースおおさかに所蔵されている資料のうち、昭和そして戦時中に使用された生活に関わる日用品を、それぞれに込められた由来や人々の知恵や工夫とともに紹介しました。

さらに、国立民族学博物館による令和4年度国立民族学博物館公募型共創メディア展示事業の支援を受け、「昭和・戦時期の生活関連資料データベース」と「戦時下の民家展示デジタルビューア」の2つの情報コンテンツを展示しました。情報コンテンツでは、タッチパネルを用いて、資料の詳細を簡単に検索することができます。

実物資料と情報コンテンツを併用することで、さまざまな角度から資料をとらえ、その魅力がよりいっそう伝わる展示となりました。



ピースおおさか戦争証言映像DVDが完成

戦後も80年が近づき、戦争体験者の方から直接話を聞くことも年々難しくなる中、ピースおおさかでは、5人の戦争体験者の証言映像を新たに作成しました。

これらの映像を収録したDVDは2023年6月より、団体向け資料貸出を開始しています。

また、2023年8月には、毎週土曜日に行っている映画上映会「ウィークエンド・シネマ」にて上映を行いました。

今回作成した映像一覧

- 白菊特別攻撃隊 仲間と共に
●大阪を襲った模擬原爆
●集団疎開 子どもたちの戦争
●大阪大空襲 火の海を逃げて
●大阪大空襲を乗り越えて

ピースおおさか2022(令和4)年12月から2023(令和5)年12月までの主な事業

開館の日平和祈念事業 シンポジウム

「平和への責任 エルサレム・神殿の丘をめぐる三つの一神教を事例として」

2023(令和5)年9月17日(日) 午後2時～4時

共 催:大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 参加者:125名



今回、三つの一神教(キリスト教、ユダヤ教、イスラーム)の聖地とされると同時に紛争の地となってきたエルサレム・神殿の丘を事例に、平和構築を考えるためのシンポジウムを開催しました。

モデレーターに同志社大学教授の小原克博さん、キリスト教、ユダヤ教、イスラームそれぞれのパネリストに、ミルコ・クイントさん、ヘンリ・ノアさん、ムガール・フマユンさんをお招きし、ご自身の意見や考えを述べていただきました。

宗教を「知る」をベースに討論が行われ、宗教の教えを踏まえつつ、なぜ宗教に紛争やテロが関係してくるのか、「平和」とは何か、それぞれの視点から議論が交わされました。

特別展

「#HereIstand 我ここに立つ —マルティン・ルター、宗教改革とそれがもたらしたもの—

2023(令和5)年8月25日(金)～9月24日(日)

共 催:大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
参加者:4,383名

宗教改革は1517年10月31日、宗教学の教授であったマルティン・ルターが、ヴィッテンベルクの城内教会の扉に「95箇条の論題」を提示したことから始まったとされています。

特別展では、ルターによる宗教改革について、その内容と成果をパネルで紹介しました。



大阪大空襲平和祈念事業 講演会

「占領下の大阪・関西～焼け跡から復興まで～」

2023(令和5)年3月12日(日) 午後2時～3時30分

共 催:毎日新聞大阪本社
後 援:大阪公立大学観光産業戦略研究所 参加者:132名



2022年8月から2023年3月まで開催されていた写真展「占領下の大阪・関西～焼け跡から復興まで」の関連イベントとして、写真集「写真図説 占領下の大阪・関西」の編著者である大阪公立大研究推進機構特別教授の橋爪紳也さんに、占領期の写真についてご解説いただきました。

また、橋爪さんと毎日新聞姫路支局長の阿部浩之さんによる、写真選定の過程をはじめとした写真集制作にまつわる対談も行われました。

DVD・ビデオ・写真パネルの貸出
地域や学校での平和学習にDVD・ビデオ、写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

終戦の日 平和祈念事業

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日 時:2023(令和5)年8月15日(火) 午後2時～3時30分
協 力:学校法人相愛学園
※台風7号の影響により中止となりました。

開戦の日 平和祈念事業

① 2022(令和4)年度

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

日 時:2022(令和4)年12月4日(日) 午後2時～4時
出演者:桂春團治、桂かい枝、桂咲之輔、桂小梅
参加者:130名

② 2023(令和5)年度

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

日 時:2023(令和5)年12月3日(日) 午後2時～4時
出演者:桂春團治、笑福亭鶴笑、桂咲之輔、桂小留
参加者:138名

特別展

「沖縄の学童疎開船「対馬丸」事件 いま生きる私たちへのメッセージ」

期 間:2023(令和5)年10月1日(日)～12月27日(水)
協 力:公益財団法人 対馬丸記念会
参加者:23,481名

出前展示

- ①大阪府・市立図書館
大阪府立中央図書館、大阪市立中央図書館をはじめ、市内各地域図書館
- ②大阪市立総合生涯学習センター
期 間:2023(令和5)年8月9日(水)～8月24日(木)
内 容:写真パネル、実物資料の展示
- ③大阪府庁本館
日 時:2023(令和5)年10月20日(金)～10月31日(火)
内 容:写真パネルの展示

上記以外にも、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、ウィークエンド・シネマ、親子まつりなども実施しました。

学校・公共的団体が財団と協力して行った事業

- ①第39回大阪市小学校児童絵画・版画展
主 催:大阪市小学校教育研究会図画工作部
期 間:2023(令和5)年7月28日(金)～8月18日(金)
内 容:各学校から2枚ずつ選定された作品を前期・後期に分けて展示。
観覧者:約1,200名
- ②国際理解・国際協力を考える連続セミナー
「留学生と平和を語ろう」
主 催:NPO 法人大阪ユニセフ協会
日 時:①2023(令和5)年11月5日(日) 午後1時～3時
②2023(令和5)年12月10日(日) 午後1時～3時
内 容:国際社会の現状の課題を学び、平和な未来について考えるセミナーを開催。
参加者:①20名
②10名
- ③ユニセフシアター
主 催:大阪ユニセフ協会
日 時:2023(令和5)年11月23日(木) 午後1時～4時
内 容:「世界の果ての通学路」を上映
参加者:71名

ピースおおさかで行ったその他の事業

- ①写真展「占領下の大阪・関西～焼け跡から復興まで」
日 時:2022(令和4)年8月9日(火)～
2023(令和5)年3月30日(木)
企画監修:橋爪紳也(大阪公立大研究推進機構特別教授)
主 催:毎日新聞大阪本社、
公益財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)
後 援:大阪公立大研究推進機構観光産業戦略研究所
協 賛:コカ・コーラボトラーズジャパン
内 容:写真集「占領下の大阪・関西」から厳選した約30点の写真を展示。
- ②映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」パネル展
日 時:2023(令和5)年11月22日(水)～
2024(令和6)年1月30日(火)
内 容:映画ポスターやパネルを展示



ピースおおさかの
キャラクター
「ピースバード」

展示紹介

「データに見る大阪の暮らし」

こちらは3階展示室にある壁面展示です。高度経済成長期の1960年、戦災復興を遂げた大阪での日用品の価格が書かれています。たこ焼きは12個30円、お好み焼きは1枚80円という安さ。なんとランドセルは1個3,000円でした。このコーナーでは「たくましく生きる大阪」をテーマに、戦後から高度経済成長期にかけて発展していく大阪について紹介しています。



ピースおおさかのいろんな形の屋根
平和とは、多様なものが相互に認めあって同時に存在し得る世界であることを表現しています。